

民主
PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

2010年4月13日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

～ 期待を実績に！ ～

衆議院議員

民主党静岡県第3区総支



小山のぶひろ

氏に訊く

○「地震財特法」成立(期限延長)

「地震財特法」は、東海地震の被害想定地域内の耐震補強工事を進めるために制定された法律です。公立小中学校や、消防施設、社会福祉施設などの耐震補強工事を進める際に国の補助率を高めることなどが定められています。この法律は、本年三月三十一日に期限を迎えることとなっております。しかしながら、小中学校など、多くの施設で耐震補強工事が必要であり、静岡県からの要請も受け、県内の衆参選出議員の中で、唯一の災害対策特別委員の私が、東海地震財特法の再度の成立・期限延長に取組みました。法案は、三月十七日に衆議院災害対策特別委員会にて可決され、三月二十三日に衆議院、三月三十一日に参議院にて、全会一致で可決されました。当法により、耐震補強工事が推進され、一人でも多くの命が救われることを心より願っています。

○災害対策特別委員会にて質問

私は、災害対策特別委員会において、三月十七日に質問も行いました。まず、地方自治体の防災無線デジタル化について質問を行いました。デジタル化は国の方針により行うにもかかわらず、地方自治体に対して設備更新の支援はなく、また一方で、アナログ無線の使用期限を平成十九年としたため、防災無線の廃止に追い込まれたと地域も発生してしまっただ変な問題です。静岡県は平成二十二年十一月末にアナログ使用が期限延長されま

◆「地震財特法」成立。

◆藤本祐司さんを推す！

したが、十一月末までにデジタル化が完了するこ

とは困難な状況となっております。デジタル化の問題点を指摘した上で、静岡県については、アナログ無線の使用期限延長を求めたところ、内藤副大臣より、静岡県の提出するデジタル化計画の内容次第では使用期限の再延長を判断するとの答弁を引き出しました。その他、①学校・病院の耐震補強工事の推進、②海岸侵食対策とダム等の見直し、③海岸林の適正管理等について、質問致しました。

○藤本祐司さん(国土交通政務官)を推す

民主党本部は、三月三日、藤本祐司議員(国土交通政務官)を参議院選挙第一次公認候補として発表しました。藤本祐司さんは磐田市勾坂にて幼年期を過ごし、ご親族も見付で健在であるなど、磐田市出身といっても過言ではありません。昨年は、遠州灘の海岸侵食対策事業について国土交通政務官として尽力しました。静岡県内きつての政策通として知られる一方で、決して威張らない謙虚な姿勢や後輩思いの温かいお人柄は、多くの新人議員から慕われています。私は、衆院選の際など本当に苦しいときに応援に来てくださった時のことを忘れられません。人格・識見ともに、藤本祐司さんは、現在の日本の国政にどうしても必要な方です。藤本祐司さんの活動に、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

衆議院議員 小山 展弘



号外 静岡3区版

2010年4月13日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

政権公約会議開く 鳩山総理

民主党は党本部で3月31日、参院選に向けて、第1回の政権公約会議（議長：鳩山由紀夫総理）を開催。鳩山総理は、2009年の政権公約（マニフェスト）を着実に実行、今までのマニフェストの重要性を認識するとともに、限られた財源のなかで何を優先させるか、国民の声を大事にしながら検証する考えを示し、「十分議論し、国民のための民主党の姿を強く示してほしい」と求めた。

また、鳩山総理は、政権発足後に主張してきた「低炭素社会の実現」や「新しい公共」、「東アジア共同体構想」、さらに、26日の会見での「官を開く、国を開く、未来を開く」とするメッセージにも言及、「今までのマニフェストを軸に、これからの世の中、新しい日本の夜明けをどうつくるかビジョンを示していきたい。国民に向けて新しい参院選マニフェストを検討し作り上げる」と表明した。

会議後に高嶋筆頭副幹事長は、記者団に対し、会議では党側から5月下旬を目途にマニフェスト企画委員会で素案を作成し、政権政策会議に提出し最終的にまとめていくとのスケジュールを説明したと報告した。

小山 のぶひろ

プロフィール

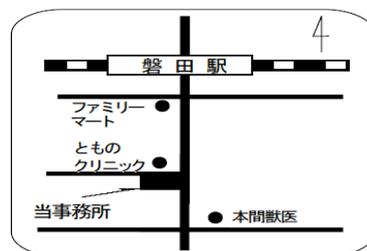
- 1975年 12月26日 掛川市（旧小笠郡 大須賀町）生まれ
- 1982年 大須賀町立横須賀幼稚園 卒業
- 1988年 磐田市立磐田西小学校 卒業
- 1991年 磐田市立第一中学校 卒業（水泳部所属）
- 1994年 磐田市立磐田南高等学校 卒業（弓道部所属）
- 1999年 早稲田大学 政治経済学部政治経済学科 卒業
- 2001年 早稲田大学大学院 政治学研修科修士課程 修了
農林中央金庫（JAバンク）入庫
- 2006年 農林中央金庫を退職し松下政経塾に入塾
日本公共政策学会 入会（現在、日本公共政策学会員）
- 2007年 民主党静岡県第3区総支部長 就任（松下政経塾を自主退塾）
第45回衆議院議員選挙にて初当選
- 2009年 衆議院議員（財務金融委員会・災害対策特別委員会に所属）
磐田市中泉（西新町）在住



衆議院議員 小山のぶひろ

民主党静岡県第3区総支部事務所

438-0078 磐田市中泉（御殿）656-1
TEL 0538-39-1234
FAX 0538-39-1235
E-mail n_koyama@aroma.ocn.ne.jp



※駅南口より
徒歩3分

※ お気軽にご連絡・ご来所ください（磐田駅南口より徒歩3分）。